

## 4 よくある質問



Q 1 この活動プログラムは、どの教科・領域等で行うことができますか？

A

提案している活動プログラムは、小・中学校ともに、特別活動で行うことをお薦めしています。

Q 2 実施時期は、いつ頃が適当ですか？

A

時期を選ばずに実施することはできますが、学年当初や1学期に行うことで、児童生徒のよりよい人間関係の構築につながり、学級づくりに生かすことができると考えます。

Q 3 活動案通りに実施した方がよいですか？

A

インストラクションの発問やモデリングの場面設定は、学級や児童生徒の実態に応じてアレンジして実施することもできます。ただし、「インストラクション」「モデリング」「リハーサル」「フィードバック」はソーシャルスキル・トレーニングの基本的な学習の流れですので、その流れを踏まえて実施してください。

Q 4 タブレット端末での「リハーサル」は何のソフトウェアを使用したらよいですか？

A

検証授業では、「Microsoft Teams」を使用しました。チャット機能が利用できるものであれば、それぞれの学校のソフトウェアを活用することができます。

Q 5 2時間全てを実施しなくてもよいでしょうか？

A

2時間の実施が望ましいですが、授業時数などの関係で2時間実施することが難しい場合は、1時目の実施がお薦めです。2時目の「問題解決スキル」は、1時目の「上手な断り方のスキル」と比べ高度なスキルであるため、1時目の後に2時目を実施することが望ましいと考えます。

Q 6 小学校低学年でも実施することができますか？

A

提案している活動プログラムは、小学校高学年と中学校を対象としています。抽象的な思考力が高まる時期は小学校高学年からと言われており、今回提案している「問題解決スキル」は小学校高学年以上の児童生徒向けの高度な内容となっています。こうした児童期の発達の特徴や習得スキルの特徴を考えると、小学校高学年からの実施をお薦めします。